

## Corporate Profile

社 名 株式会社 DONKEY  
代表取締役社長 須藤 泰志  
設 立 2020年3月19日  
資 本 金 2億8,000万円  
出 資 企 業 (株)アルプス技研、(株)日本総合研究所  
(50音順)  
電 話 番 号 042-703-0235  
住 所 〒252-0131  
神奈川県相模原市緑区西橋本 5-4-21  
さがみはら産業創造センター SIC-1 1103号室



<https://www.donkey.co.jp>

株式会社 DONKEY

# DONKEYは あなたのそばで共に挑み 未来を創ります

## VISION

月でも働けるフィールドロボットによって、  
現場仕事の新常識を創る。

少子高齢化、人口減少社会へのシフトに伴い顕在化した労働力不足。農業を始めとしたフィールドワーク、屋外作業の現場では、限られた労働力で、いかに付加価値の高い仕事を行うか課題となっています。

そこで、私たちは、ひと昔前は、屋外での仕事の際には人と共に口バが働いていたこと、月面探査では遠隔操作の無人ローバーが活躍していることに着想を得て、屋外で人と共に働くことが出来るロボットがあれば、現場で働く人が、より付加価値の高い仕事に集中できるのではないかと考えました。

月でも働けるくらい気の利いた、機能や性能、使い勝手の良さのあるロボットづくりを行い、現場仕事に新たな常識を提供すること。

それが私たちの使命です。

## STORY

◆ 2016年 (株)日本総合研究所が「農業者みなが儲かる農業 = 『Agriculture 4.0』」を提唱

これに共感した企業や大学有志による数年間の検討を経て、小型多機能型農業ロボットの開発～販売とロボットが取得したデータを活用し農業の発展に寄与することを目的とし、当社を設立しました。

◆ 2019年 農業現場での実証、実演による評価と改良

◆ 2024年 販売モデル CP200 をリリース

## 主な事業



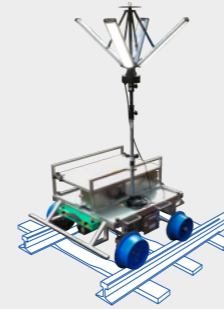
小型フィールドロボットの  
開発・販売

## 01 追従運搬車 CP200



農業向けに開発・販売。  
収穫作業時の負担を軽減し、  
農産物の効率的な運搬を支援  
します。防除アタッチメントの  
装着により、薬剤散布として  
も利用可能になります。

## 02 軌道上自動追従・先導照明車 D-Telass (ディーテラス)



夜間の保線作業において、  
作業品質を維持・向上し、  
現場に省人化・省力化した  
作業体制を実現します。  
(第一建設工業株式会社と共同開発)

## 03 その他販売 部品/専用アタッチメント



小型フィールドロボットの  
開発・販売に加えて、イン  
ホイールモーター単体の販  
売と、追従運搬車専用ア  
タッチメントの販売にも  
対応しています。

## 活動・導入事例



梨農園の運搬追従利用



小菊圃場の防除リモコン利用



ぶどう圃場の防除追従利用



ワイン用ぶどう栽培 技術向上研修会